

るのバス利用状況及び OD 調査結果速報

1. 令和元年度以降の利用動向

- ・るのバスの乗客数は、コロナ禍に伴う緊急事態宣言が発出された20年4月に大幅に落ち込んだ。
- ・22年における動向は、22年1月時点でコロナ禍前である18年4月を1とした場合に0.72であった。
- ・22年3月からるのバス増発の実証運行が開始されたが、通常便（増発前から運行している便）については同月時点でなお対18年4月比0.79であるものの、増発便を含めると1.15となった。
- ・以降、全体の乗客数は概ね増加傾向で推移しており、最新値の22年10月では全体で1.54となった。また、通常便のみでも0.91となり、コロナ禍前の1割減にまで回復している。

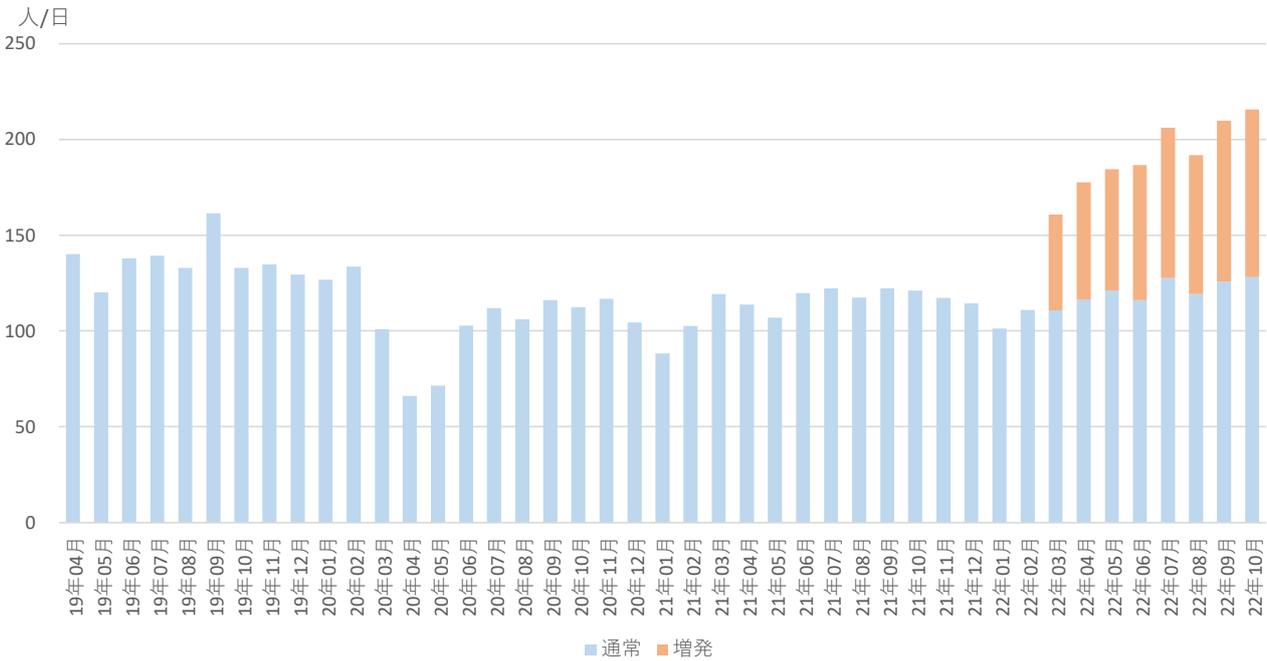


図1 日平均乗客数の推移

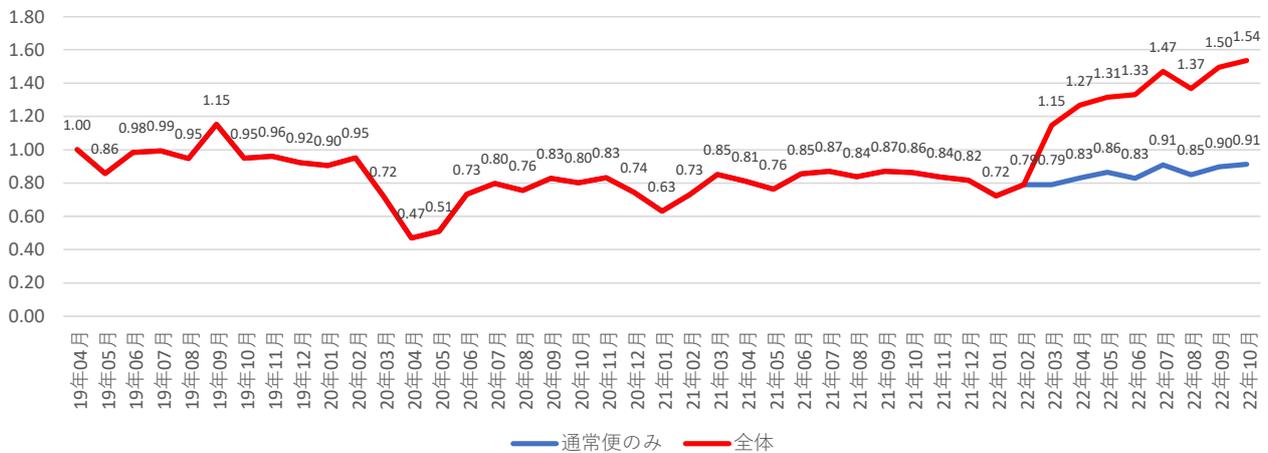


図2 19年4月を1とした時の乗客数の伸び

2. ルート別の状況

- ・ルート別の乗客数をみると、各月とも概ね利用動向は同じであり、特異な利用状況は認められない。
- ・22年3月からのバス増発の実証運行により、各ルートとも乗客数が増加している。とくに、医療センタールートにおける増加が目立つ。

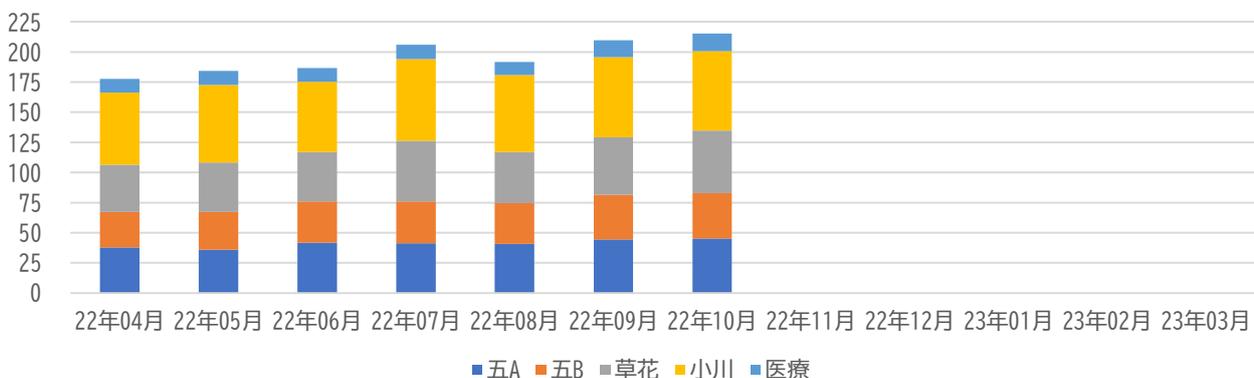
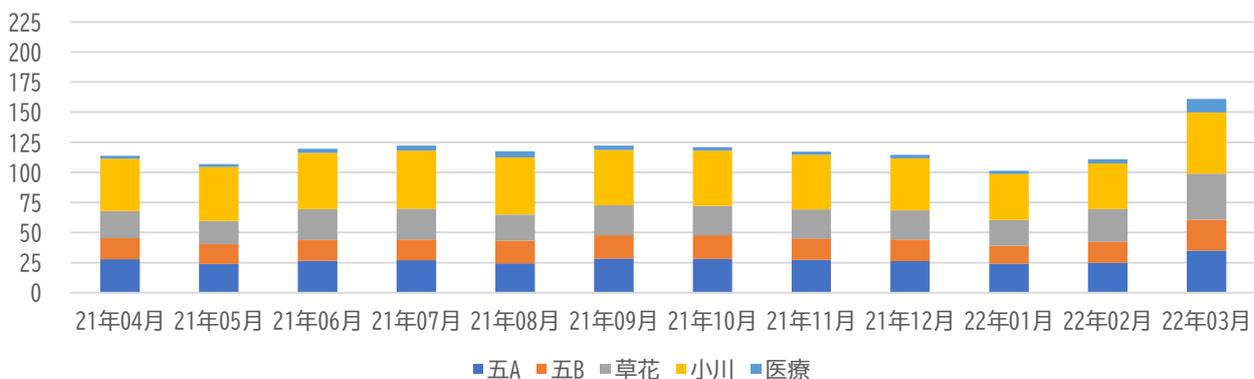
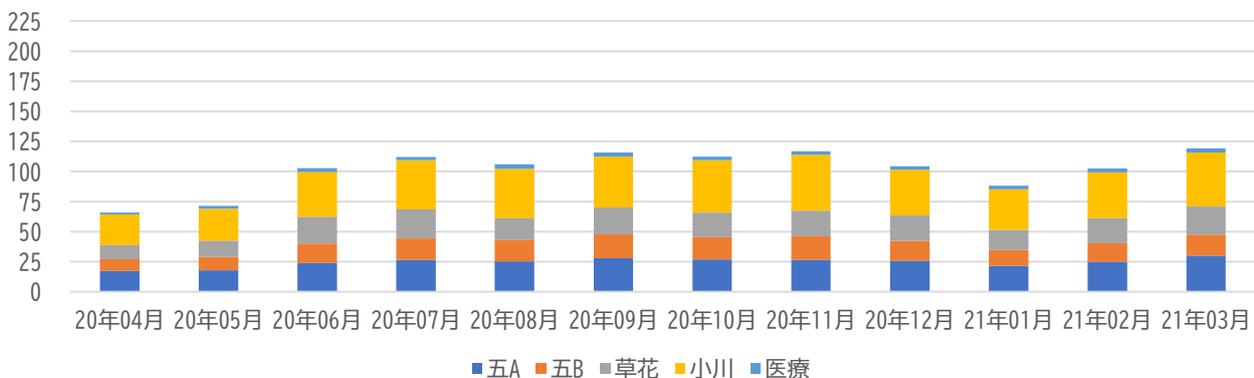
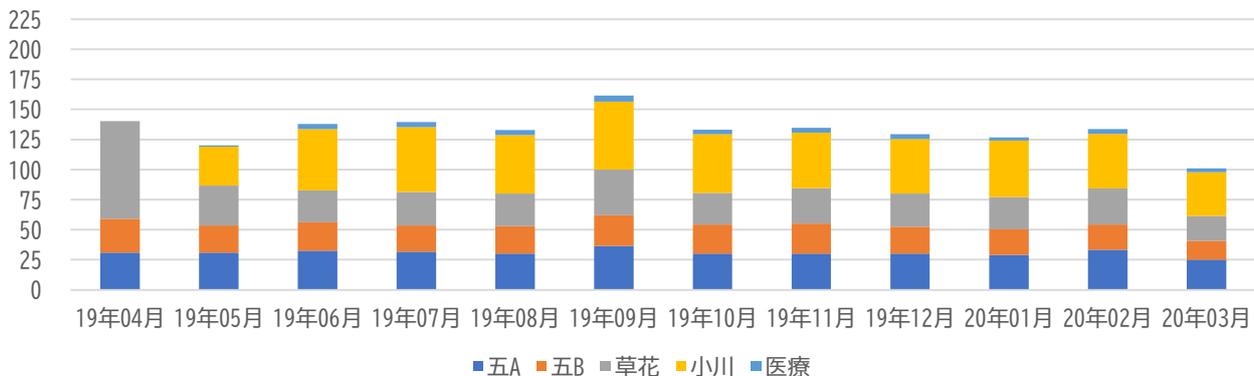


図 3 ルート別乗客数の推移

※19年4月のみ、草花ルートは草花、小川、医療センタールートの合計

3. 実証運行の効果

- ・実証運行の効果を見るため、各年10月における便別乗客数を整理すると、前述のとおり、コロナ禍前の19年と実証運行時の22年とでは、通常便でコロナ禍前に対し、約9割の水準である。また、構成比に特段の変化は見られない。
- ・一方、増発便についてみると、五日市ルートは19年の約6割、草花ルートは19年とほぼ同数、小川ルートは19年の1/2弱、医療センタールートは19年の倍以上となっている。

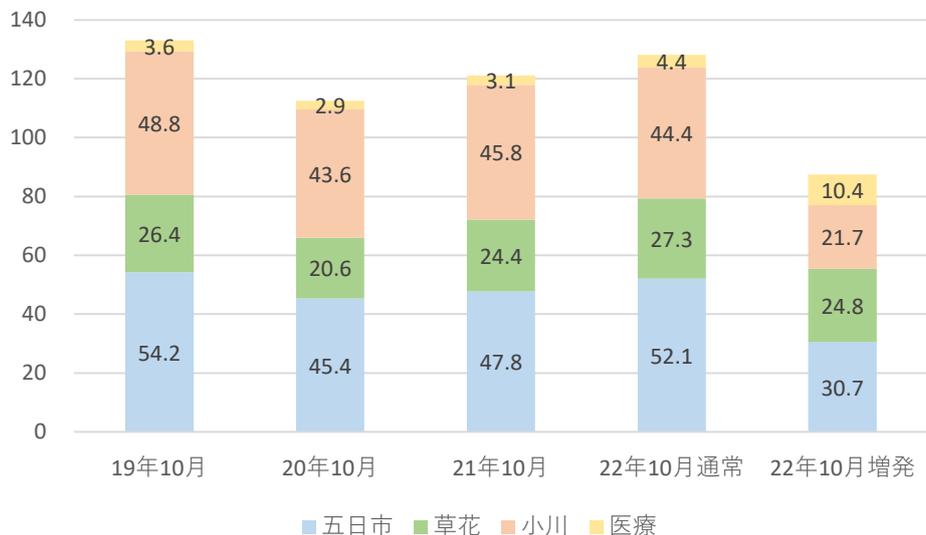


図4 各年10月におけるルート別平均乗客数

- ・増便数と乗客数の変化をみると、今回の実証運行により全体で便数は1.89倍となっている一方、乗客数は1.69倍である。
- ・これをルート別にみると、乗客数の伸びが増便率を上回っているのは医療センタールートのみで、4倍の増加となっている。
- ・五日市、草花ルートは、増便率に対し乗客数の伸びがわずかに下回っている。
- ・小川ルートについては増便率1.60に対し乗客数の伸び1.35と、他のルートに比べやや伸びが小さい。

表1 便数・乗客数の伸び率

	便数			日平均乗客数		
	通常	増発	増便率	19年10月	22年10月	22年/19年
五日市	6	4	1.67	54.2	82.8	1.53
草花	5	5	2.00	26.4	52.0	1.97
小川	5	3	1.60	48.8	66.1	1.35
医療	2	4	3.00	3.6	14.8	4.06
計	18	16	1.89	133.0	215.6	1.62

4. るのバス利用実態調査結果速報

1) 調査概要

- ・ るのバス実証運行の効果を把握するため、22年11月28日（月）に、0D調査を実施した。
- ・ 調査方法は、実証運行前の20年11月と同様に、調査日に運行するるのバス全便に調査員を2名同乗させ、乗客の乗降バス停、運賃区分、乗り継ぎの有無を確認した。
- ・ 前回調査は20年11月30日（月）に実施したため、条件を合わせるため、今回調査の実施日は11月最終月曜日の28日とした。

2) 結果速報

- ・ 当日の乗客数計は、通常便155人、増発便91人、計246人であった。
- ・ 前回調査と比較すると、通常便のみでも1.17倍、増発便を含めると1.85倍の伸びとなっている。

表 2 便別乗客数

		20年度	22年度	伸び
①便	五A	9	8	0.89
②便	草花	4	8	2.00
③便	小川	18	21	1.17
④便	医療	12	6	0.50
⑤便	草花	7	16	2.29
⑥便	小川	7	11	1.57
⑦便	五B	4	10	2.50
⑧便	五A	14	16	1.14
⑨便	草花	9	10	1.11
⑩便	小川	9	9	1.00
⑪便	医療	6	2	0.33
⑫便	草花	5	3	0.60
⑬便	小川	3	9	3.00
⑭便	五B	13	15	1.15
⑮便	五A	4	7	1.75
⑯便	草花	1	2	2.00
⑰便	小川	2	2	1.00
⑱便	五B	6	0	0.00
小計		133	155	1.17
①便	五A		7	
②便	草花		5	
③便	小川		9	
④便	医療		4	
⑤便	草花		2	
⑥便	小川		8	
⑦便	医療		7	
⑧便	五B		12	
⑨便	五A		8	
⑩便	草花		6	
⑪便	医療		4	
⑫便	草花		2	
⑬便	草花		5	
⑭便	医療		0	
⑮便	小川		6	
⑯便	五B		6	
小計			91	
合計		133	246	1.85

- ・ 前回調査と今回調査とでは、コロナ禍に伴う乗客数の減少度合いに差があることから、各年10月の実績値に基づく補正率を算出し、これを用いて今回調査結果を前回調査結果にそろえたところ、補正後でも調査当日における旅客数の合計は211人となり、前回調査比1.59となった。

表 3 今回調査結果の補正

	OD調査時乗客数			利用実績 による 伸び率 (c)	22年度 補正值 d=b/c	コロナ禍 を考慮し た伸び d/a
	20年度 (a)	22年度 (b)	単純伸び b/a			
五日市	50	89	1.78	1.15	78	1.55
草花	26	59	2.27	1.32	45	1.71
小川	39	75	1.92	1.02	74	1.89
医療	18	23	1.28	1.50	15	0.85
合計	133	246	1.85		211	1.59

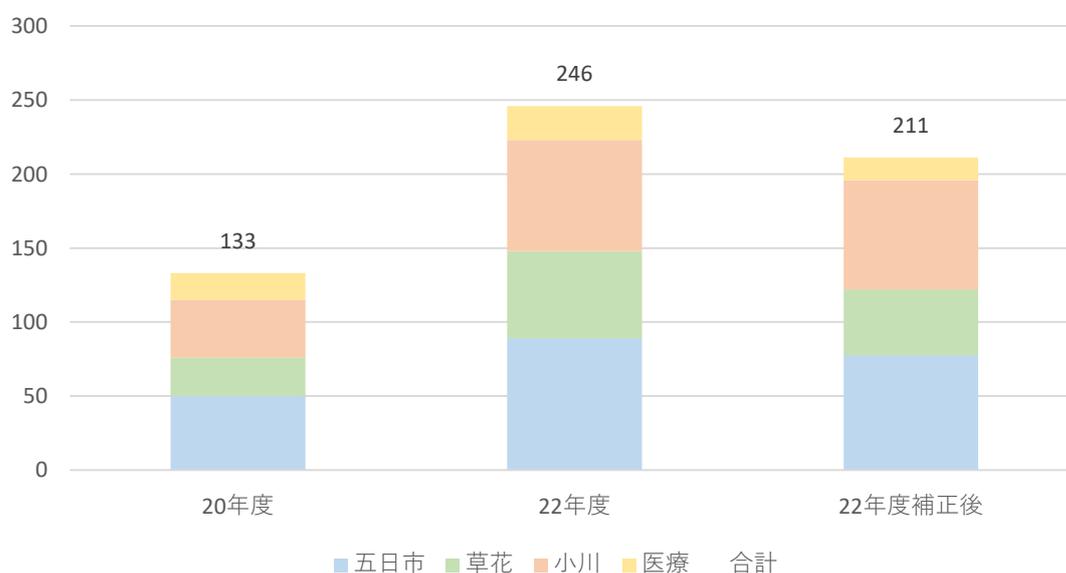


図 4 実態調査結果における乗客数

5. 今後の予定

- ・ 前回調査と同様に、バス停別乗降客数、バス停間旅客数等を整理し、次回公共交通検討委員会を目途にOD調査詳細版を報告する。